

【京都府教育委員会教育長賞】

「人は何のために働くのだろうか」

木津川市立泉川中学校 3年

小野 愛梨



「働くとは何だろう」社会の中では、様々な人達が働いている。そもそも人はなぜ働くのか。お金を儲けるため。家族のため。社会のため。それとも自分が生きるためだろうか。私は働くことの意味を追及してみました。

私は、泉川中学校の近くにあるワーキングセンターいづみへ職場体験に行きました。そこへ行くまではとても緊張していましたが、施設の方に「おはようございます。」「よろしくね。」などの温かい言葉をかけていただき、緊張は解けていきました。あいさつは人の心を温かくするのだなぁと感じました。私が体験した主な仕事は障害のある方と会話したり食事の介助をするなどです。私は、沢山コミュニケーションを取りたいと思い、話し方を工夫して話しかけてみると、私の顔を見てニコニコ笑ってくださいました。職場体験最終日には「ありがとう」と言ってくださり、思わず涙がこぼれました。誰かの役にたつってこんなにも嬉しいものなのだ実感しました。体験終了後、私はあらためて働くことの意味について考え、両親に「仕事」について尋ねました。

父は、

『仕事は自分が成長させてもらえるものやと思うな。』

と応えてくれました。

母は、

「苦勞も多いけれど役に立てると幸せになれるし、相手も幸せになれるのが仕事やと思うで。」

と話してくれました。

どちらの意見にも納得しました。なぜなら職場体験で大変でも働くことは自分の喜びであり、相手の喜びだと感じたからです。さらに社会で働く人達の志望動機を調べてみると、「強い関心があったから。」「自分の本当にやりたい仕事を考えて職業を選んだ。」ということでした。次に、仕事の魅力では、「何かに役立って喜んでもらえること。」が多くしめていました。しかも驚いたことに「お金を多く手に入れるため。」という意見はありませんでした。私はお金を得ることよりも自分が役に立ち、生きがいを感じる事が働いて得られる一番の喜びだと改めて感じました。だから、社会の一員として社会を支え、喜び、生きがいを感じるために働くのだと思いました。

働くことを調べて、働く人々が好きなことや得意なことをもとに役立とうと頑張ってくださっているからこそ、社会が成り立っているのだと思いました。私は将来働く時、役に立てる、仕事にやりがいを感じられる、良い社会を創っていける人でありたいです。体験した職場体験も調べたことも大切な宝です。人は何のために働くのか、それは「社会の一員として社会を支えるため」「自分に生きがいややりがいを感じるため」だという答えを大切に、自分が働く時に生かしていきたいです。